



中華民國 台灣投資通信

発行：中華民國 經濟部 投資業務処 編集：野村総合研究所 台北支店

November 2006

今月のトピックス

2015年経済発展ビジョン第一段階の三年衝刺計画
(スパート計画)(2007-2009)

- 産業人力方案、公共建設方案

飛躍する台湾産業

オンラインゲーム産業(上)

台湾進出ガイド

台湾の工業団地について(1)

日本企業から見た台湾

~ 格唯爾(股)有限公司

武埜亮副総経理インタビュー~

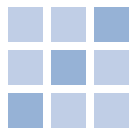
流動する雇用、対応する人事

台湾マクロ経済指標

インフォメーション

vol. 135

【今月のトピックス】



2015年経済発展ビジョン第一段階の三年衝刺計画 (スパート計画)(2007-2009)- 産業人力方案、公共建設方案

2015年経済発展ビジョン第一段階の三年衝刺計画は五つの方案に分けられており、前回は産業発展方案、金融市場方案、大温暖社会福祉方案の概況を説明した。今回は10月下旬に行政院を通過した産業人力方案(産業人材方案)と公共建設方案について紹介する。

産業人材方案

この方案は経済永續発展会議(経続会)での、2015年の台湾の1人当たり名目GDP3万USドルという目標に向けて、優良な人材資源に関する優れた環境を築き上げることを目的としている。

(一) 四大計画理念

「産業界が必要とする人材の充実」、「労働力の全面的な質の向上」、「産学連携を強化し、研究開発リソースの学术界から産業界への移転」などが経続会で合意をしており、その計画理念は以下の通りである。

1. 人材の需給情報を各重点産業別にまとめ、タイムリーな人材資源政策の調整を行う。
2. 職業訓練を強化し、産業技術の人材を補充する。重点産業に関する職能育成クラス及び学制外の専門クラスを開催し、技術のある人材を短期間で補充する。
3. 弾力的な学制編成を行い、産業ニーズの変化に対応していく。2005年末に修正可決した「大学法」に対応して、

実務領域でのカリキュラムを積極的に推進する。

4. 公的部門の人事規制を緩和し、産学(研)連携の総合力を最大限に発揮させる。大学及び公的研究機関の法人化を推進する。これは産学(研)の連携資源を統合して、研究開発のリソースを学术界から産業界へとその重心を移行させ、産業界の研究開発面の競争力を強化する。

(二) 九大計画

1. 人材需給の調査統合制度の成立

将来は12の戦略的サービス業を中心にサービス業の専門人材需給調査を実施し、「人材の導入及び育成訓練会報」で各種人材の需給統合プラットフォームを作りあげる。

2. 重点産業の職能育成訓練の実施

流通、医療保健・介護、観光・スポーツレジャーという三つの重点サービス業界専門人材及び「種子教師」資格(ある特定領域の知識の普及を担う資格)の育成訓練を優先推進重点計画に含める。「職業訓練法」の修正を行い、規制緩和により企業が人材投資を重視するようにする。



3. 産業専門課程育成計画の拡大

産業修士専門課程を伝統産業の研究開発についても開催し、伝統産業関連人材を育成する。この他、二年制の産業技術専門課程を増設し、大学四年時実施の職業関連カリキュラムを大学三年に前倒しし、早めに職場の体験ができるようにする。

4. 産業人材の根下ろし計画のスタート

技術及び職業に関連する各学部・大学院を連携し、各産業技術の共通基礎科目カリキュラム編制に焦点を置き、産業の必要とする技術/専門の人材を育成する。

5. 高等教育学制を弾力的に運用

複数領域に跨る学位のカリキュラム編成を積極的に推進する。また、修士課程では専門学院を設立し、実務訓練を強調、教学に偏らず研究も共に重視する。これらを通じてサービス業界の高付加価値化の基礎を築き上げる。

6. 職業技術教育体系の再構築

職業技術学校課程の改革を積極的に推進し、民間資格を学生の入学可否の判断に組み入れる等、実務型学制改革を行う。

7. 国際的な教育及び産業視点の教育の推進

外国人学生の募集を拡大し、2006年度の2,853人から2009年の8,000人に増加させる。その他、中国語教育の海外普及を促す。また、産業視点に立った教育を推進し地域の製造業人材育成センターを設置する。

8. 産学(研)連携・統合の昇格

人材育成、研究・開発、産業の発展という分野を統合し、同時に産業、学術、研究界の連携支援のための計画を検討する。

9. 国際専門人材の招聘

海外駐在機関の人材招聘機能、及び人材採用ネットワークを強化し、インド、東ヨーロッパ、ロシア人材の招聘拠点を増設する。この他、海外第2世代、海外留学生、シルバー

専門人材の招聘を重点対象とする。子女教育、家族の就職、就学、税制、英語環境など良好な環境を積極的に築き、国際専門人材の招聘を促進する。

公共建設方案

この方案は将来3年間に7,289億元を投入し、南北及び都市と農村の格差を縮小する、或いは環境やレジャー施設の改善を目的とする。

具体的には、良好な住環境、交通アクセスの高速化などがテーマとして掲げられ、13の具体的目標が挙げられている。この中で主たるものは以下の通り。

1. 汚水処理率を先進国標準レベルに改善し、32.7%から40%に向上させる。
2. 20水系の河川に親水空間を設置し、各縣市に都市河川親水施設を少なくとも一ヶ所設置する。
3. 国際レベルの物流ネットワークを構築し、国際海空港から主要なサイエンスパークまでの所要時間が10分以内の割合を80%から85%まで向上させる。
4. 主要都市間を1時間30分から3時間以内で到着可能な都市間交通を確立する。
5. 都会エリア内で45分から75分での通勤通勤を確立する。
6. 家から地域の芸術文化センター或いは運動場までの時間距離、10分以内の到着率を80%にする。
7. 家から国民運動場や運動公園までの所要時間を70%以上が60分以内に収まるようにする。
8. ブロードバンド普及率を40%以上にし、900万人を30Mのブロードバンドにアクセス可能にする。



オンラインゲーム産業(上)

台湾ゲーム産業はPCをベースにしたPCコンソールとPCオンラインゲームが主力である。しかし近年、PCコンソールゲームの市場も衰えており、オンラインゲームが大半を占める。今回から二回にわたり台湾のオンラインゲーム産業を紹介していく。

産業概況

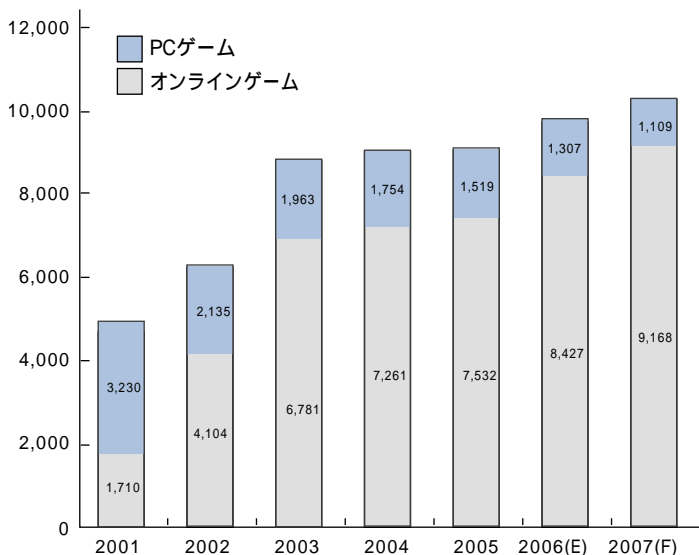
台湾のゲーム産業は大きく、PC オンラインゲーム、PC コンソールゲーム、ゲーム専用機コンソールゲームに分けることができるが、このうちPCをプラットフォームにした前二者が主体である。特に2003年が台湾オンラインゲーム市場が大きく飛躍した年で、市場規模は約NT68億元(対前年比67%成長)を突破した。2006年の市場規模はNT97億元で、そのうちPCコンソールとオンラインゲーム市場規模はそれぞれNT13億元とNT84億元に達する可能性がある。2005年と比べ、ゲーム市場全体は7%以上成長しているが、オンラインゲーム市場が13%の伸びを見せる一方で、PCコンソール市場は逆にマイナス成長である。専門家によると、台湾でオンラインゲームが中心になる主な原因は

海賊版対策にある。

台湾のオンラインゲームのパリューチェーンは、四つの運営主体で構成される。それはソフトクリエイター、オペレーター、パブリッシャー・代理店、ソフト流通である。そのコスト構成比率は図2のようになる。一方、数位内容推進室(DCIPO)によると、パリューチェーン別売上構成ではオペレーター、パブリッシャー、ソフト流通の割合が大きく、特にパブリッシャーから流通面までで全体売上の約50%を占める。

また、各パリューチェーンでは大手による垂直統合が進む一方で中小企業者の専門化という動きが見られる。現在台湾最大手の「智冠」は元々パブリッシャーと流通から起業したが、合併を繰り返し現在の規模になった。現在は川上から川下までもグループ内ですべて対応している。

図1 台湾におけるPCゲーム市場規模推移
(単位：百万元NT)



出所) 資策会MIC、2006/01

なお、課金システムについては、2005年からほぼ全面的に月間利用料免除に移行している。主にゲーム中の特殊アイテムの利用などによって課金される仕組みになった。

ユーザー動向

資策会調査により、ジャンル別では、MMOPRG (Massive Multiplayer Online Role Playing Game、ロールプレイング) やアクションのゲームが圧倒的に人気が高い。

MMOPRGのなかでは、可愛い系と古風系のゲーム

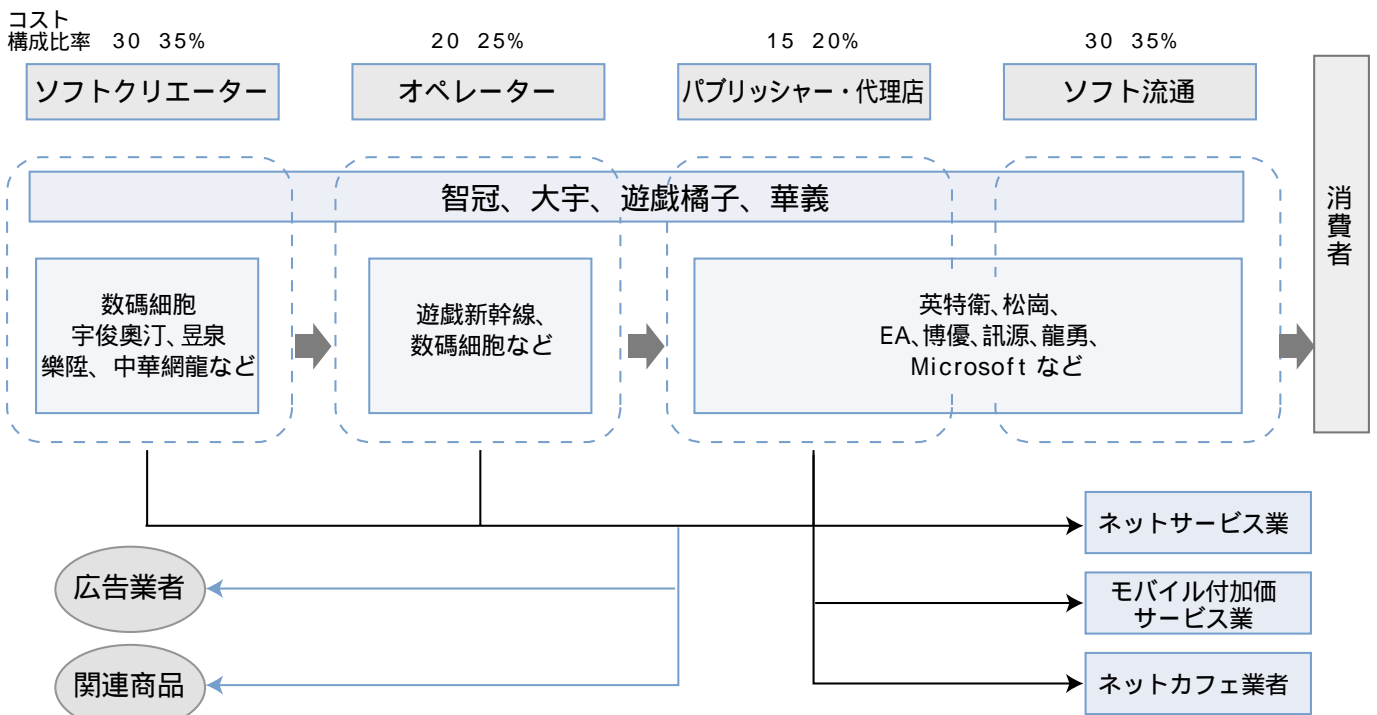


が上位を占めている。表1のように、中度・重度ゲーマーは圧倒的にロールプレイングを支持しているが、軽度ゲーマーでは逆にアクションゲームが僅かな差でトップになる。

しては、可愛い系と古風系はすべてのゲーマーから人気があり、特に可愛い系の人気は圧倒的である。また、オンラインゲーマーの一人あたり支出は、平均NT200～500元である。

さらに、好まれるロールプレイングの種類に関

図2 台湾におけるオンラインゲーム業界構造



出所) 資策会 MIC、NRI作成

表1 プレー時間別のオンラインゲーマーの特性

	軽度ゲーマー	中度ゲーマー	重度ゲーマー
平均支出 (NT元/月)	222	400	572
好む種類	アクション (58.0%) ロールプレイング (55.5%) カジュアルゲーム (28.4%)	ロールプレイング (78.2%) アクション系 (52.3%) 戦略 (30.7%)	ロールプレイング (84.3%) アクション (52.6%) 戦略 (29.4%)
好むロールプレイング種類	可愛い (66.0%) 古風 (33.5%) リアル (29.7%)	可愛い (52.6%) 古風 (42.9%) フィクション (27.2%)	可愛い (59.7%) 古風 (34.6%) リアル (27.0%)

出所) 資策会MIC、2005/10



台湾の工業団地について(1)

台湾の工業団地は政府の運営するものは主に工業区・科技工業区、輸出加工区（出口加工区）、サイエンスパーク（科学工業園区）、環保サイエンスパーク（環境保護科学工業園区）の4つの種類に大別される。この他に民間企業が開発運営するものがある。

これらの概要については、ジャパンデスクホームページのQ&A欄の【6工業区】Q 6-1 http://www.japandesk.com.tw/qa/q6_1.html に有る為、そちらをご参照いただきたい。

今回より個別の工業団地の状況についてご紹介をしていきたい。

まず、今回は輸出加工区よりご紹介する。

2006年7月現在	総面積 (ha)	未入居面積 (ha)	総企業数	日本企業数	月額土地賃貸料 (1㎡あたり)	公共施設建設費 (1㎡あたり)
台中パーク	26.2	0	48	9	9.15元	5.38元
中港パーク	177.0	38.9	52	10	7.51元	7.7089元
楠梓パーク	97.8	0	88	13	11.50元	(拡区)7.56元
高雄パーク	72.0	0	87	9	10.50元	(拡区)10.472元
高雄ソフトウェアパーク	7.9	3.69	4	0	39.20元	7.841元
臨広パーク	9.0	2.57	29	1	12.50元	8.01元
成功物流パーク	8.4	評価中	3	0	申告地価の6.25%	なし
高雄航空貨運物流パーク	54.5					開発中
屏東パーク	124.1	18.33	16	1	1.33元	10元
合計	576.9		327	43		

流動する雇用、対応する人事

Goodwill台湾は日本の Goodwillグループの100%子会社として、台湾で人材事業を営む。

同社は人材紹介事業と人材派遣事業を二本の柱としている。日本では人材派遣事業は企業の人事戦略にかかせないサービスであるが、台湾ではまだまだこれから、と言う環境である。しかし、日本のノウハウを活かし、短期アルバイトの派遣を中心として、日系企業の事業に大きく貢献している。

今回は格唯爾(股)有限公司の武埜亮副総経理にお話を伺った。



格唯爾(股)有限公司
副総経理 武埜 亮氏

御社の概要についてお聞かせください。

弊社、Goodwill台湾は日本のGoodwillの100%子会社です。日本ではGoodwillグループは、人材ビジネス、健康ビジネス、そして「感動ビジネス」と位置づけている外食の三つの事業を、全国で展開しております。

人材ビジネスについては、グッドウィルブランドで展開をし、日本国内で支店数1000を超える基幹事業です。この分野では、軽作業分野での派遣事業を中心に正社員紹介、事務派遣、セールスプロモーションなどの派遣・紹介事業を手がけております。また、健康ビジネスでは、コムスンブランドで、訪問介護医療を中心としたビジネスを展開しております。最近ではテレビコマーシャルでもお馴染みとなっており、「コムスン」の名前を聞いてピンとくるお客様も多数いらっしゃいます。

最後の感動ビジネスですが、これは「食を通じて人々に感動を与える」というコンセプトで、最近開始したビジネスです。都市周辺部での和食レストランを展開しており、日本のみならずアメリカニューヨークにも「MEGU」という和食レストランを運営しており、THE NEW YORK TIMES誌でも取り上げ

られ話題になりました。

台湾の拠点は2001年に設立し、人材派遣、人材紹介、短期の通訳等の派遣、アルバイトの派遣などを中心に事業展開させていただいております。

目下のところ拠点は台北のみです。当初は半導体関連で盛んな新竹などへの出店なども検討したのですが、台北だけでも十分に掘り起こすべきビジネスチャンスがあると考え、まずは台北集中戦略を取ることに致しました。今後は正社員紹介事業やリテールマーケットの発達に伴う短期派遣アルバイト事業の地方売上拡大を見込み、地方出店のタイミングを図りたいと考えております。

台湾に進出された切っ掛けはどのようなことだったのでしょうか？

皆さんおっしゃることかもしれませんが、アジア市場に進出する上で地理的、概念的にも近い台湾を選んだ、と言えましょう。市場調査の際には、ジャパンデスクさんの様々な資料も参考にさせていただきました。弊社の競合企業も既に進出はしていましたが、最終的に経営トップでの決断で、台湾への進出が決定いたしました。

日本企業から見た台湾

中国、香港にも同時進出することが当初の計画の一つにありましたが、まずは台湾を足がかりとして、しっかり押さえて、そこでの成果をビジネスモデルとしてしっかりと吟味してから、これを平行移動して香港、中国へと展開させると言う方向に致しました。

現在、人材事業として台湾は初めての海外拠点となっていますが、台湾での確立した事業モデルを武器に、既に世界各地でマーケティング・リサーチを開始しております。

台湾に実際に進出されてのご感想は如何ですか？

私自身が、赴任して1年半になりますので、その間の感想ということで。

まず、日本と違う部分が結構多い、と言うのが率直な感想です。当初は「派遣を中心に」と言う考えもありましたが、台湾ではまだまだアウトソーシングとしての派遣の概念と言うのが定着していません。短期アルバイト派遣も日本では弊社の派遣ビジネスの中心的事業ですが、台湾ではそもそもフリーターの概念が無く、全く新しいところからビジネスモデルを確立することになりました。赴任当初において、いきなり台湾でのきつい洗礼を受けた格好でした。

そこで、中心となるのは正社員紹介なのですが、これは日本のグッドウィルキャリアが手がけているノウハウをうまく活用することができました。また、短期派遣アルバイトについても、台湾にはフリーターという概念がまだ定着していないものの、在学中のアルバイトを募り、弊社ノウハウを活用して短期派遣アルバイト事業を展開することができました。両事業ともに日本での十分なノウハウを台湾にてローカライズ出来ているため、台湾では重要な事業分野として育っています。

小売分野でのお客様においては、やはり日本レベルのサービスクオリティを提供することを常に心がけていらっしゃいます。ただし、そういったところでも人事のご担当はやはり台湾の方。すると、台湾人のコンセプトの中でアルバイトを選び、その基準で使ってしまう。すると、日本レベルのサービ

スを提供しにくい場合も出てきます。

そこで、弊社での短期アルバイト派遣では、クオリティ重視というコンセプトに基づいて、教育訓練や欠員補充対応、シフト管理業務等を全てマニュアル化しており、急なご依頼でもスピーディーに対応出来るような体制を整えております。既に大手百貨店様や専門店様、カード会社様とのお付き合いもさせて頂き、ご好評いただいております。

進出をご検討されている日系企業の皆様へのメッセージをいただけますか？

日本経営方針を踏襲しながら、台湾でのやり方がある程度受け入れることかと思えます。

弊社では、仕事を進めるに当り、日本での概念が通じないことが多く、よく弊社の台湾人社員にも「ここは台湾だから」と言われます。その通りの所もあるので、「ではあなたのやり方で頑張ってみてください」という事で、彼らに任せてしまいます。彼らの目線に合わせて、上下関係ではない、パートナー同士という関係を構築することで、弊社では上手く行くのではないかと考えています。

弊社ではこのために、権限委譲を進めて、営業のbudgetも委ね、それが収入に連動する仕組みを作り上げています。このような進め方は、成果主義の概念が日本より強い台湾においては、実は受け入れられやすいやり方ではないかと考えています。

日本のやり方をきちんと踏襲することが必要なのは当然ですが、台湾のやり方を把握しそれをうまくミックスすることも必要と考えます。こういった方面でのお悩みを、Goodwillでは進出時初期から人事戦略についてアドバイス等をさせていただきます。実際にそこからずっと深い関係を築かせていただいているお客様も多くあります。今後も日系企業の人事戦略に大きく貢献をしていきたいと考えておりますので、是非ご用命いただきたく思っています。

ありがとうございました。

台灣マクロ経済指標

年 月 別	国内総生産額		製造業 生産年増率 (%)	外国人投資 (千米ドル)		貿易動向 (百万米ドル)			物価年増率 (%)		為替レート		株 価 平均指数 1966=100
	実質GDP (10億元)	経済 成長率 (%)		総金額	日本	輸出	輸入	貿易収支	卸売物価	消費者 物価	ドル	円	
2001年	9,862	-2.17	-8.36	5,128,529	684,722	126,314	107,971	18,344	-1.34	-0.01	35.00	0.2667	4,907
2002年	10,281	4.25	9.39	3,271,747	608,107	135,317	113,245	22,070	0.05	-0.20	34.75	0.2930	5,225
2003年	10,634	3.43	7.38	3,575,674	725,688	150,600	128,010	22,590	2.48	-0.28	33.98	0.3179	5,161
2004年	11,279	6.07	10.55	3,952,147	826,515	182,370	168,758	13,613	7.03	1.62	31.92	0.3098	6,033
2005年	11,734	4.03	4.00	4,228,067	723,165	198,432	182,614	15,817	0.61	2.30	32.85	0.2795	6,092
9月	2,967	4.24	8.03	209,963	36,477	17,001	15,571	1,430	-0.10	3.16	33.19	0.2929	6,067
10月			8.17	338,637	54,894	18,792	16,477	2,315	-0.03	2.74	33.55	0.2900	5,880
11月			10.49	252,014	24,102	18,059	15,873	2,186	0.86	2.50	33.52	0.2805	6,025
12月	3,079	6.44	9.79	1,104,015	63,830	17,945	14,328	3,617	1.72	2.21	32.85	0.2795	6,377
2006年			3.74	3,953,787	33,551	16,836	14,513	2,324	1.13	2.66	31.99	0.2750	6,609
1月			15.85	177,147	37,259	15,464	16,073	-609	2.31	0.98	32.46	0.2792	6,614
2月			7.10	1,378,012	109,797	17,892	16,166	1,726	2.11	0.41	32.46	0.2763	6,501
3月	3,011	4.92	6.17	236,646	30,803	18,795	16,421	2,374	3.31	1.23	31.91	0.2791	6,941
4月			8.87	898,540	11,009	18,922	18,212	709	6.58	1.58	32.02	0.2866	7,123
5月			6.19	301,379	42,748	18,094	16,869	1,225	8.78	1.73	32.40	0.2822	6,548
6月	2,947	4.57	7.45	1,396,386	54,507	19,576	17,771	1,805	9.18	0.79	32.76	0.2861	6,504
7月			4.85	541,688	141,442	19,374	18,158	1,216	9.08	-0.56	32.91	0.2806	6,552
8月			1.96	447,484	79,964	20,085	17,273	2,812	6.69	-1.22	33.10	0.2804	6,719
9月	3,098	4.39											

出所：中華民國經濟部統計処

インフォメーション・コーナー

台北国際工作機械展示会 (Taipei International Machine Tool Show 2007)

概要
 2年毎に開催される台北国際工作機械展示会 (TIMTOS 2007) が2007年3月12日から17日まで、台北世界貿易センターで開催される。TIMTOS 2007は中華民國對外貿易發展協會(TAITRA)と台湾区機器工業同業協会(TAMI)が主催する工作機械・電動工具の見本市である。例年のようにスイスの工作機械と部品メーカーを合わせて国家館で出展、今回ドイツもDMGなどのメーカーを始め、国家館として出展する。2005年の展示会では、アメリカ、ドイツ、イギリス、日本を始め、18ヶ国以上の企業が出展し、延べ642社の企業が2,664ブースを設置し、約32,720人の国内外バイヤーが来場した。例年ブース出展の希望が多く、用意されたブースの2倍以上の応募がある。今回の展示会では、645社超、2,600以上のブースが設置されると予想される。詳細はこちらのホームページまで。 <http://www.timtos.com.tw/>

開催日時 2007年3月12日(月) ~ 17日(土) 09:00 ~ 17:00

出品物 CNC Machine Tools, Metal Cutting Machines, Metal Forming Machines, Foundry, Forging, Welding & Cutting Equipment, Tools & Cutters, Measuring, Inspecting and Testing Equipment, Machine Tool Parts & Accessories, Related Items

展示会場 台北世界貿易センター展示ホール1(1階及び2階のエリアH) & 2 & 3

主催 中華民國對外貿易發展協會 (TAITRA) 台湾区機器工業同業協会 (TAMI)

お問合せ及び資料請求
 中華民國對外貿易發展協會 展覧業務処 鄭凱仁
 TEL : 886-2-2725-5200 ext.2612
 FAX : 886-2-2725-1959
 E-mail : timtos@taitra.org.tw
 台湾区機器工業同業協会 楊広立 組長
 TEL : 886-2-2349-4666 ext.685
 FAX : 886-2-2349-4685
 E-mail : timtos2007@tami.org.tw

ジャパンデスク連絡窓口 (日本語でどうぞ) ジャパンデスクは、日本企業の台湾進出を支援するため、台湾政府が設置しています。野村総合研究所が無料でご相談にのります。お気軽にご連絡ください。

經濟部 投資業務処 台北市館前路 71 号 8F TEL: 886-2-2389-2111 / FAX: 886-2-2382-0497
 担当: 林貝真 ext. 216 (日本語可)

野村総合研究所 台北支店 台北市敦化北路 168 号 13F-E室 TEL: 886-2-2718-7620 / FAX: 886-2-2718-7621
 担当: 杉本洋 ext. 26 / 凌瑞郷 ext. 33 / 何佳娟 ext. 23

野村総合研究所 コンサルティング第三センター 〒100-0005東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビル TEL: 03-5533-2709 (直通) / FAX: 03-5533-2724
 担当: 岡田真理子

● ジャパンデスク専用 E-mail: japandesk@nri.co.jp ● ホームページ <http://www.japandesk.com.tw>

個別案件のご相談につきましては、上記ジャパンデスク専用Eメール、もしくは野村総合研究所台北支店宛にお願い致します。